

とくしま新未来データ活用推進戦略

目的

- データ大流通時代を迎え、官民データ活用推進基本法が施行されたことを受け、データの流通促進や広域的な連携につながる環境を整備するとともに、データを効果的・積極的に活用することにより、すべての県民がその効果を実感できる新未来を創造する。また、全国に先駆けてIoT・ビッグデータ・AIなどの先端技術の活用を実証することにより徳島モデルを創出し、本格化する「第4次産業革命」を先導する。

位置づけ

- ICT先進県である本県のデータ活用基盤を更に進化させ、少子高齢化など諸課題の解決やオープンイノベーション創出につながる官民データ活用、未来を拓く新価値創造の実現に向けた戦略的な推進計画とする。

推進体制

- 徳島県ICT推進本部の「官民データ活用推進会議」でフォローアップ・継続見直しを実施
- タスクフォース等も活用してアイデアを発掘

計画期間

- 平成30年度から平成32年度までの3年間

基本施策

セキュリティ強化

- ① 行政手続のオンライン化
県民目線のスマート県庁を実現
- ② システム改革・業務見直し
新次元の行政手法を展開
- ③ オープンデータの推進
官民共創のネクストステージを拓く
- ④ マイナンバーカードの普及・活用
日本最先端モデルを創出
- ⑤ デジタルデバйд対策
安全安心をユニバーサル化

重点分野・主な施策

- 徳島の強み・特色を活かした施策を推進

電子行政分野

- ・行政手続及び行政データの棚卸し
- ・AI等の活用による業務効率化
- ・市町村に対するクラウド導入促進

観光分野

- ・観光サイトの強化
- ・多言語音声翻訳アプリの利活用促進
- ・4K・8K映像による徳島の魅力発信

インフラ・防災・減災分野

- ・AI活用による防災対策
- ・IoT・AI活用によるインフラ管理
- ・i-Constructionの推進

健康・医療・介護分野

- ・医療健康ビッグデータの活用
- ・医療情報連携基盤の整備普及
- ・遠隔画像診断の普及・運用

農林水産分野

- ・IoT・AI活用によるスマート農業
- ・ドローン・IoT活用によるスマート林業
- ・ビッグデータの活用によるスマート漁業

移動分野

- ・交通規制情報提供の高度化
- ・道路工事規制情報のオープンデータ化
- ・ドローンの活用拡大

子育て・教育分野

- ・教育関係ビッグデータの活用
- ・ICT活用教育の実践
- ・子育て支援情報のオープンデータ化

ものづくり・環境分野

- ・IoT・AI・ロボット技術の活用・導入支援
- ・IoT・AI活用人材の確保・育成
- ・IoT・AI関連企業の集積支援
- ・環境情報のオープンデータ化

分野横断的施策

- ・IoT実装に向けた取組推進
- ・AI実証実験の展開
- ・LGWANのインフラ強化
- ・マイナンバーカードの多機能化・実証先導

○データ利活用のルール整備、人材育成・普及啓発も実施

独自施策

- ⑥ IoT・ビッグデータ・AIの活用
第4次産業革命を先導



- データ利活用推進会議・パブリックコメントなどを通じ、県民の皆様のご意見を反映
- 81項目からなる施策集を作成し、各施策ごとに目標・KPI・ロードマップを設定